

令和 2 年度福生市一般会計予算の組み替えを求める動議

令和 2 年度福生市一般会計予算について、市長は、別紙の通り組み替えを行い、再提出することを求めます。

1 組み替えを求める理由

(1) 平成 15 年に市内循環バス導入を検討調査してから、すでに 16 年が経過し、この間、高齢化の進行、CO₂削減など環境負荷低減要請の高まり、駅や公共施設・商店などへのアクセスの不便さ等々、環境も大きく変わり、市内循環バスの市民ニーズが高まっていること。

(2) 平成 15 年度に市内循環バス導入について検討調査し、平成 16 年 3 月に報告書が提出されているが、その中では、

①バス 2 台、東西 2 ルートの場合、1,760 万円の経費、

8 の字ルートの場合、2,180 万円の経費

②バス 3 台、東西 3 ルートの場合、2,120 万円の経費

8 の字ルートの場合、3,170 万円の経費

③バス 4 台、東西 2 ルートの場合、2,700 万円の経費、

8 の字ルート両方向の場合、4,160 万円の経費

と報告されていて、現在 2 台、2 ルートで運行されている福祉バスの運行委託料 2,300 万円と比べても、市内循環バスの方が、費用対効果の面でも優れていることが予想され、調査検討する必要があること。

(3) 平成 15 年の調査研究後、「コストの問題」を理由に、市内循環バスではなく、福祉バス導入を決定した際にも、

・野澤市長…「これ（市内循環バス）についてはいろいろな整理をしながら、これからまたご相談をしていきたい。」（平成 19 年第 2 回定例会）

・加藤市長 …「市内循環バスについては、福祉バスとは別に考えるところであると思っております」（平成 20 年決算特別委員会）

と回答しているが、一度も検討されていない。改めて調査検討すべきである。

(4) 市内循環バスの必要性として、野澤市長が自ら述べ、報告書でも明確に書かれている3つの狙い

- ①交通弱者が外出しやすくなるような移動手段
- ②まちにとってにぎわいを生み出す資源
- ③交通不便地域への交通サービスの提供と市内交通のネットワーク化への貢献

の内、①は福祉バスである程度は改善されたが、②③については全く放置されたままになっていること。

(5) 東京26市の中で23市が市内循環バスをすでに整備し、幅広い市民に利用され、定着している。人口減少対策を最優先課題として取り組む福生市として、地域公共交通網の整備は避けて通れない。

2 組み替えの内容

(1) 歳出

款	項	目	節	説明	金額(千円)	備考
総務費	総務管理費	企画調整費	委託料	市内循環バス導入検討調査委託料	1,650	平成15年度の同委託料1,575,000円(消費税5%)を消費税10%で計算
予備費	予備費	予備費		予備費	74,267	予備費75,917千円から減額調整する